

平成30年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立 東和中 学校
作成日	平成31年 3月1日

1 教育目標

人権尊重の精神を全教育活動の基盤にした、心豊かな人間性と確かな学力、たくましく生きる力を持った生徒の育成

2 学校の自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 東和中にとっては学力向上は特に大きな課題である。 全教員が「学び合いの授業づくり」を共通理解をし、指導方法に関する研修をより深めてほしい。 「職場体験」を進めていく上での効果について検証してほしい。 特別支援教育の充実と研修を深めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標としては、今までの実践を元に最重点目標になっている。 東和中学校にとっては、生徒指導の充実が長年の課題である。生徒の心に響く取組を継続し更に推進してほしい。 道徳と読書は大いに関連する。道徳が31年に教科化されるので読み物はしっかり読ませて更に研究を進めてほしい。 人権・同和教育の充実・実践を図り、人権意識を高めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学力同様、体力・運動能力の向上を図ることは、東和中にとって重要な課題である。 基本的な生活習慣の確立は、体づくりのみならず、健全育成に必要不可欠な目標であり、心の育成、学力の向上にも結び付くものである。 食育については、貧困との関連もあり、重要課題である。健康な体づくりのみならず、食への感謝する心も育てたい。 今の自分や他者への安全・健康はもちろん、将来、安全で健康に過ごすための礎となるものとして 	<ul style="list-style-type: none"> 目標としては、生徒・地域の実態と今までの実践の積み重ねから見て、いずれも適切である。 きめ細かく具体的な情報発信に努めている。 地域の豊富な教育資源を活用している。 単一学区の特性を生かし、小・中連携も充実しており、保護者や地域との関係はよい。

取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査の結果を分析し、学校全体で授業改善や授業力向上に向け、取り組めている。 「学び合いの授業づくり」の推進のため、教員が丸となって校内研修に取り組んでいる。 「朝の読書」が定着し、静かな雰囲気で開催されている。 家庭学習の習慣を身につけさせるため、効果的な課題の出し方を見つけてようとしている。 将来の進路選択に向け、計画的に進路指導に取り組んでいる。 職場体験学習では、体験のみならず事前学習や事後のまとめを壁新聞や発表を通して生徒の力になっている。 特別支援教育における個別指導計画を作成することは大切である。学校全体としての取り組みを進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が丸となって、生徒一人ひとりの理解に努めようとしている。 問題をかかえる生徒に対して、地域と連携をとりながら改善の道を探っている。 読書活動のアンケートがきちんと処理され、結果も公表され成果も上がっている。 道徳教育の充実を目指し積極的に取り組もうとしている。 人権・同和教育が計画的に行われている。また、小中の教員の連絡会についても、年々充実させようとしている。 朝のあいさつ運動も定着し、校長を中心に多くの教員が参加し、学年を超え、全生徒との関係を深めようとしている。 全員清掃が実施されているが、全教員の共通理解を図り、積極的な参加が必要と思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 本校の体力・運動能力の課題を体育科が主となって、他の教員とも教員とも共有できているが、十分ではない。 「朝ラン」は昨年度より充実している。 「CLUB 1up プロジェクト」は、昨年に引き続き実施され、よかった。 宮前っ子子育てプランについては、継続した取組であり、学校を中心として地域の各団体が連携しており、とても良い。 食育については、食育だよりの発行や保健委員会の放送はある。また、教科においても、関連して学習している。 がん教育については、食育とともに、各教科で関連した内容で取り組んでいる。 防災教育については、校内での避難、校外への避難といった工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事への参加の呼びかけは粘り強く、保護者・地域にむけ行い、学校と一体となった活動を展開できている。「合唱コンクール」や「東和スマイルカップ」等のイベント型の行事には多くの参観が得られ、地域・保護者が一体となったものが開催できている。しかし、PTA総会や授業参観においては、学校としては大いに努力しているが保護者の意識に高まりがないのは残念である。 各種団体との懇談会も3回実施して、各種団体の欠席もなく、充実した懇談会ができています。 HPや様々な紙ベース（東和便り・学年便り等）により、生徒や保護者に対して学校の取組や行事、心身を育てるための細やかで具体的な情報発信ができています。 地域にはすばらしい人材や地域教材が多く、これらを活用することにより、生徒の心に響く教育を実践している。 その日にあった問題についてはその日の内の解決に向け、きめ細かく家庭との連絡を取っている。家庭訪問を中心とした家庭と連携して教育を進めてほしい。
-------------	--	--	--	--

<p>検証結果に対する意見</p> <p>取組の適切さの意見</p>	<p>・「学び合いの授業づくり」の研究授業・研究協議会を数多く実施し、充実した実践ができています。</p> <p>・「学び合いの授業づくり」を充実させるため、教員・生徒からアンケートを年2回行い、検証結果から生徒・教員の意識の高まりが見られた。</p> <p>・朝の読書活動については、アンケート結果から生徒に集中力や国語力に高まりがあったことがわかる。</p> <p>・宿題の取組は、全学年が取り組んでいることは素晴らしい。宿題のチェックや粘り強い指導に敬意を払う。</p> <p>・進路指導については、3年間を見通し計画を立て、実践していくことが大切である。</p> <p>・職場体験学習は、地域との連携が大切で、職場体験学習を実施できる場所の確保が大切である。</p> <p>・夏休みにチェックリストを分析し、支援が必要な生徒を共通理解し学年を中心に指導支援ができた。</p>	<p>・朝のあいさつ運動が多くの先生方や地域の方々の参加を得て、年々充実してきている。</p> <p>・朝の読書活動が定着しており、アンケート結果からも生徒全体に読書に親しむ習慣がついてきている。本を読むという行為自体が「豊かな心」ととらえてよいのではないかと、より、推進してほしい。</p> <p>・道徳教育に年間計画通り取り組めたことは素晴らしいことだと思う。2年後の教科化に向け、更に推進してほしい。</p> <p>・人権、同和教育が計画的に実施されている。小中意見交換会も効果的で、生徒の人権意識も高まっている。</p> <p>・いじめ問題解決に向け、積極的に予防対策に推進できている。</p>	<p>・ただ数値目標を追い求めるのではなく、将来にわたり、自ら体力・運動能力の向上を図るような取り組みがもっとあるとよい。</p> <p>・「朝ラン」は、単に体力を高める機会を創出しているだけではなく、基本的な生活習慣の確立の一翼を担っている。</p> <p>・「CLUB 1up プロジェクト」は、部活動を顧問に任せきらず、学校全体で取り組むことで教師間、生徒間の繋がりを生み、部活動が持つ様々な課題を解決してくれる。また、教育課程内で大切にしている、生徒が主体となった学び合いを教育課程外でも生かしており、継続してもらいたい。</p> <p>・宮前っ子子育てプランは、生徒の安全・健康教育を家庭だけの責任とせず、地域の関係者が連携して支えようとしているところが良い。</p> <p>・食育については、家庭で十分な食事をできていない生徒がいることを考えると、もっと充実を図る必要がある。特に、生活習慣病に係る教育、防災・減災教育等と合わせ、命の大切さや、将来にわたって命を輝かせる教育の充実を図</p>	<p>・イベント型の行事には多くの参観が得られたが、授業参観は昨年同様少なく、平日頃より、授業や研究授業を公開し、保護者の参加を促し、参観した保護者の口コミで拡大させていく工夫が必要である。</p> <p>・「合唱コンクール」では、地域の公民館活動のすばらしい作品が展示され、地域と学校の結びつきに効果があった。また、生徒にとっても作品の素晴らしさに感銘することができた。</p> <p>・「宮前地区子ども育てる会」が地域各種団体との意見交換や学校の情報公開の場として活用できている。</p> <p>・様々な紙ベース(学校便り等)の中の重要な内容は、教員が生徒達と一緒に読むことにより、生徒には届いているようだが、保護者にまで浸透しているかどうか疑問である。</p> <p>・地域の人材を活用した授業展開は、生徒にも身近なものとして理解しやすいと思う。さらに、推進、発展させてほしい。</p>
<p>改善方法に対する意見</p> <p>次年度に向けての意見</p>	<p>・「TOWA7」と「授業づくりの5ポイント」実践は、教員が共通理解をしながら実践しているが、まだ、不十分なところが見られる。教員相互の授業参観を増やし、研究協議を深め全教員が授業改善できることを期待する。</p> <p>・「朝の読書活動」「宿題の出し方の工夫」「授業改善」の充実のため、本年度のアンケート結果を十分検証し、成果が出ることに期待する。</p> <p>・発達障害についての研究・研修をさらに深めて成果が出ることに期待する。</p>	<p>・学校全体で取り組む授業規律を決め、全教員がチャイムとともに授業が開始できるよう努力している。</p> <p>・教員が、部活動や昼休憩・掃除等の生徒の活動に積極的に関わり、自然な中で生徒理解を図っている。</p> <p>・朝の読書活動を更に充実させてほしい。効果についても充分検証され、他校にもその効果を公表して欲しい。</p> <p>・道徳教育の充実が本校の課題である生徒指導の充実と結びつくと、さらに工夫改善を進めてほしい。</p>	<p>・生徒自ら、自分の体力・健康の課題を見いだせるよう取り組んでもらいたい。</p> <p>・生徒一人一人のニーズの対応することは大変困難なことではあるが、可能な限り工夫し、様々な運動の機会を創出してもらいたい。そのためには、教師が教えるだけでなく、生徒が自ら運動の機会を創出し、自立的に運動できる力をつける必要がある。互いに学び合い高め合える生徒を育てるためには、「TOWA7」を運動の場にも生かす工夫を図ってほしい。</p> <p>・これまで同様、様々な内容を教科を越えて関連付けながら取り組んでほしい。また、地域との連携を図ることも一層推進するよう工夫してもらいたい。</p>	<p>・校内研修(研究授業)は、十分に実践しているので、小学校6年生の保護者にも公開できるような工夫をしてはどうか。</p> <p>・「東和スマイルカップ」には保護者の見学者も多くいた。「合唱コンクール」と同様に地域にも呼びかけてもらい、東和の伝統的な行事となっていくことに期待する。</p> <p>・「保護者へのメール配信」を利用して授業参観や講演会等への参加を呼びかけてはどうか。</p> <p>・「宮前っ子 子育てプロジェクト」を広く広めるような工夫改善をしてほしい。</p>

3 その他のご意見

<p>・教員の授業力は、生徒や保護者の信頼度につながるため、授業の質を高めると共に授業力向上のために努力してほしい。</p> <p>・クラスによっては、学級掲示物や清掃状態に大きな差がある。学習環境は、生徒の成長に大きな影響を与えるので、工夫をお願いしたい。</p> <p>・特別支援学級の取り組みの難しさを感じた。さらに、充実した取り組みを進めてほしい。</p> <p>・自転車通学の禁止の徹底や部活動時における自転車のマナーの指導もお願いしたい。</p> <p>・地域は東和中学校を愛しています。常に家庭訪問を心がけ、生徒理解を推進してほしい。</p> <p>・校長のリーダーシップのもと、全教職員が同じ方向で充実した学校運営ができています。一人ひとりの教員が主体的に積極性を持たせることにより、更に充実した学校運営ができると思う。</p>
--